

放送ストリーミング情報収載

放送ストリーミング情報【2020No.174】(HP 収載)

分類：ネットストリーミング

局等：Digital Concert Hall

作曲家：ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト

曲名：ピアノ協奏曲第 22 番変ホ長調

演奏：レイフ・オヴェ・アンスネス(ピアノ)/ヘルベルト・ブロムシュテット指揮ベルリンフィル

関連サイト：<https://www.digitalconcerthall.com/ja/concert/52521>

2020 年 1 月 19 日のベルリンフィル大ホールにおける演奏です。



上記の他に下記が演奏されました。

アンコール曲

エドヴァルド・グリーグ

《抒情小曲集》より作品 54 第 2 番〈ノルウェーの農民行進曲〉

レイフ・オヴェ・アンスネス (ピアノ)

アントン・ブルックナー

交響曲第4番変ホ長調《ロマンティック》(第2稿 1878/80年版)

アンスネスのモーツァルトは、甘美に過ぎず、またダイナミズムを見せつけることなく、端正で爽やかなモーツァルトです。これを支えるブロムシュテットもいつもの自然体の指揮ぶりで、アンスネスは演奏中もオケとの協調を確認するかのようにオケの方を見ていました。中でも、白眉は第2楽章で、控えめな美しさが印象的です。

アンコール曲のグリーグの小品では、素朴な舞踊曲風です。

ブルックナーの交響曲第4番は、ブロムシュテットがバンベルク響を率いての来日公演の熱演が忘れられませんし、ゲヴァントハウスを指揮したCDも聴いていますので、おなじみです。では、今回のベルリンフィルではどうかというと、ブロムシュテットは淡々とした指揮ながら、ベルリンフィルの練達のメンバーは、ブロムシュテットの意図を汲み取ったかのように、抒情的な静かな局面から、ブルックナーらしい壮大な盛り上がりまでオーソドックスな演奏です。

以上